



がつ ど い り ん ぼ か ん
12月 土居隣保館カレンダー



にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
					1	2
3	4	5 からてきょうしつ 空手教室 20:00~	6	7 ｽｰｲｱｰﾌﾞ ﾁｯｸ 10:00~	8	9 もっこうきょうしつ 木工教室 10:00~
10	11 ｸﾗﾌﾄﾊﾞ ﾝﾄﾞ教室 10:00~	12	13	14 ｽｰｲｱｰﾌﾞ ﾁｯｸ 10:00~	15	16 なわづく しめ縄作り たいけんきょうしつ 体験教室 9:30~
17	18	19 からてきょうしつ 空手教室 20:00~	20	21 ｽｰｲｱｰﾌﾞ ﾁｯｸ 10:00~	22 じんけんざんかい 人権座談会 18:30~	23
24・31	25 ゆうゆう 悠遊クラブ 10:00~	26	27	28	29	30

りんぼかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな
隣保館では、人権相談や職業相談を行っています

なや
悩んでいることはありませんか？

りんぼかん じんけん かか なや そうだん まどぐち しょくば しょくば
隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です。「職場でのハラスメント」、「職場
がっこう い なん そうだん じんかいそうだん しょくぎょうそうだん
や学校に行けない」など何でも相談してください。また、ハローワークの巡回相談（職業相談）
おこな じんかいそうだん でんわ よやくせい こんねんど
を行っています。巡回相談は、電話による予約制となっています。今年度より、ハローワーク
しょくいんげん ていきかいさい りょうかい
職員減により定期開催はなくなりましたので、ご了解ください。

ど い り ん ぼ か ん だ よ
土居隣保館便り

れいわ ねん
令和5年
12 がつごう
月号

はっこう ど い り ん ぼ か ん しこくちゅうおうしどいちょうふじわら
発行：土居隣保館 〒799-0703 四国中央市土居町藤原5-400-3 TEL/FAX 28-6356

シリーズ この人に聞く 3

えぐち ひさし てつこ
江口 久さん・徹子さん



えぐちひさし てつこ ふたり さべつかいしやう
江口久さん・徹子さんのお二人は、ずっと差別解消の

せんとう た わたし あゆ みち しめ
先頭に立ち、私たちが歩む道を示してくださっています。

さいきん ふたり こうえんかい まね おお しこくない
最近では、お二人で講演会に招かれることが多く、四国内

はじ きゅうしゅう きやうと かつどう
を始め、九州や京都などでも活動しておられます。

1 いつも積極的に活動しておられますが、その原動力となっているものは何でしょうか。

ひさし せんそう さべつ しゃかい じつげん しょうがい はは いし つ とも
(久さん) 戦争と差別のない社会の実現のために生涯をかけた母(いとさん)の遺志を継ぐと共に、
じぶんじしん ひ さべつたいけん とお いっさい さべつ ゆる まち じつげん にんげん こうむいん
自分自身の被差別体験を通して、一切の差別を許さない町の実現が人間として(また、公務員として)の
しめい かんが い 生きてきた。生き続けている差別の現実に対峙することが原動力ともなった。

てつこ にんげん ただ おも じつこう じつこう かし 価値がない。」という幼い頃からの父の教え
(徹子さん) 「人間は、正しいと思ったことを実行しなければ価値がない。」という幼い頃からの父の教え
が、いつも私の中にある。また、私たちの結婚のエピソードを知った恩師山上次郎先生から「十字架を
お ごと とつ きみ しろ はな たんか さまざま ちから
負ふが如くに嫁ぎし君こぶしの白き花をよすがに」という短歌をいただいた。そういう様々なことから力
をもらい、私が人間として果たすべきことは何かという十字架を求めてひたすら生きてきた。それが私
げんどうりよく
の原動力となった。



2 いろいろな場所で多くの人に講演されていますが、その中で特に印象に残っていることはどんなことですか。

(久さん) 大分市の職員研修を10年余り担当していた時、そこで真剣な行政姿勢と一生懸命研修している素晴らしい人々に出会い、その人たちとの関係は今も続いていることはありがたく感じる。また、顕現教育を熱心に行っていた頃、土居中学校の生徒から教えられた数々のことが、今も私の宝物となっている。

(徹子さん) 全国同和教育研究大会が初めて愛媛で行われた時、子どもたちからもらった手紙「お父さんお母さんお帰りなさい。ストーブもこたつも全部消しました。安心してお休みなさい」をテーマに、県を代表して

特別報告を行った。会議を終えて深夜に帰宅した私たち夫婦へのたどたどしい文字で書かれた手紙を抱き

しめ、涙しながら読んだことが全国の皆さんの心に届いたことが心に残っている。報告を前に全同教

委員長から、温かい励ましをいただいたことも忘れることができない。この大会がきっかけとなって、全国か

ら招かれ、温かい優しい人達に多く出会うことができた。

3 今は、どういう活動をされていますか。いつも前向きな活動をされていますが、その思いをお聞かせください。

(久さん) 妻と二人で講演依頼がよくあり、徳島・香川の児童・生徒たちへ私たちの生きてきた姿や未来

へ託す夢を語っている。母の詩「人の値打ち」が全国的に教材として使われていることや、「招かれなかった

お誕生会」などの差別の現実を通して、人間にとってかけがえのないものとは何かを問いかけ、共に考えてもらっている。

(徹子さん) 京都府長岡京市の女性会の講演会の中で、私が作詞した「野の花のワルツ」(元歌は「星影の

ワルツ」)を全員で合唱し、楽しい中での出会いとなった。長岡京市では、会議毎に「野の花のワルツ」を歌っ

ていると報告を受け、うれしく思った。参加されていた方から、京都新聞に投稿した記事を送っていただい

た。多くの人と絆を結ぶことができて幸せである。

4 差別のない社会実現のために、何が大切だと思いますか。最後に皆さんに伝えたいことをお聞かせください。

(久さん) 差別の現実に学ぶことだけでなく、水平社が100年の歴史、人権・同和教育もそれに近い積

み重ねがあるにも拘わらず、なぜ差別がなくなるのかを深く考え、自己を見つめ直して欲しいと考

える。国連からも強く指摘されているように、差別を禁止する「法」の制度があらゆる差別の解消にとって

重要であると考えている。松本治一郎先生の「不可侵不可被侵」の精神は忘れてはならず、それが

水平社創立宣言の精神に繋がっていると考える。

(徹子さん) 愛媛新聞に、私の短歌「限りある命の価値は同じよねと語り語りて50年すぐ」が掲載され

た。次代を子供たちに託す私の心境だ。児童作家でもあるロバート・フルガムさんが、「人間として生きて

いく上に於いて大切なことは、大学院という山のテッペンでなく、幼稚園の砂場で学んだ。」と書いている。

とても大切なことを教えてくれている。「差別解消のために大切なのは、人間愛であり、人間と人間の間

には決して差別の壁はあってはならない。差別の壁を打ち砕くのは人間愛である。」常に私が訴えてい

たことをこれからも訴えていく。命のある限り…。

お話を伺った最後に「私の子どもたちに差別を負わさないでください。それまでがんばって

ください。」と娘さんに言われたことを話して下さった。差別をなくすためにがんばらなければ

ならないのは誰なのか。私達一人一人に与えられた課題だと私は思った。

しめ縄作り体験教室のご案内

12月16日(土)9:30~12:00

講師 鈴木 富雄さん 参加費 無料 準備物 はさみ

※参加ご希望の方は、12/11までに土居隣保館にご連絡ください。

